

2-8 マレーシア廃棄物専門家セミナー

岡山大学廃棄物マネジメント研究センター

藤原健史

岡山大学大学院環境学研究科・資源循環学専攻

Siti Norbaizura

1. セミナー概要

平成 25 年 3 月 29 日にマレーシア・クアラルンプールのマラヤ大学、IGS ビル、Bilik Anggerik において、“Expert Talk on Building a Sound Material Cycle Society in Malaysia” というタイトルでセミナーを開催する。

マレーシアは、以前には地方自治体の単位で廃棄物を管理していたが、数年前より住宅地方自治省の国家廃棄物管理部(JPSPN)が一括して国全体を管理する体制に変えてきた。実際の管理業務は固形廃棄物管理公社(PPSPPA)が行い、マレーシアを3つの地域に分けてそれぞれの地域ごとの清掃事業を民間企業に委託している。このように、中央が管理する方式をとるため、また清掃事業を企業委託しているために、廃棄物マネジメントの政策を、地域へ反映させやすい構造になっている。

いま現在マレーシアでは、廃棄物の減量化のための3Rを進めている。他の国にはない新しい特徴がBuy back システムと言われる資源ごみの買い取りシステムである。政府機関の置かれているプトラジャヤでは、市民から資源ごみを買取る施設を見学したことがある。市民は自動車で資源ごみをその施設に運び、重量をスケールで測って記録してもらう。このような施設は全国にはないので、学校などを利用してごみの買い取り作業をする。この資源ごみの買い取り制度にある銀行が参加しており、市民がその銀行に口座を作っておけば、買い取り金額がその口座に振り込まれる仕組みを作っている。インドネシアにもごみ買い取り制度をコミュニティ単位で実施しているところはあるが、全国単位で進めようとしているのがマレーシアである。他にも、最終処分場のメタン回収や、焼却炉の導入など、廃棄物マネジメントの再構築に力を入れているところである。そのような中でJPSPNの局長であるDato' Nadzri氏が、現在のマレーシアの廃棄物マネジメントと今後10年間の予定について講演して頂く。

次に、藤原の方から日本の3Rの歴史と現在進めているマレーシアイスカンダールの低炭素化社会を目指した廃棄物マネジメントの計画について講演する。マレーシアのマレー半島南部にあるイスカンダール地域は、現在マレーシアが新しい産業地帯として最も力を入れている地域であり、2030年に300万人都市になるよう開発を進めている。政府は都市計画の中にグリーンシティという考え方を盛り込み、低炭素社会を目指す一方で、広大な湿地帯の保存などの自然共生社会、そして廃棄物の減量化を進める循環型社会を実現しようとしている。われわれはこの計画において低炭素と低廃棄物を組み合わせた廃棄物マネジメントを計画しようとしており、それについて発表する。

三番目には、岡山市の山田耕市審議監からごみの焼却処理技術について講演を頂く。山田氏は岡南清掃センターの所長も経験されており、焼却炉の運転・維持管理について専門

的知見を豊富にお持ちである。平成 23 年度にはインドネシア・バンドン工科大学で開催したセミナーにもご講演を頂いた。今回は、焼却炉の導入を検討しているマレーシアで、焼却炉導入における評価ポイントや排ガス処理や灰処理などの付随して必要となる環境負荷対策について講演をいただく。

最後にマラヤ大学のアガムス教授から、現在進められているアジアの廃棄物マネジメント COE の設置について講演を頂く。アガムス教授は世界銀行に対してアジアの廃棄物マネジメントに関する COE の設置を要求しており、その必要性について講演を頂く。

2. 講演プログラム

9:15 – 9:30 Registration

9:30 – 9:35 Opening address by Moderator (Prof. Agamuthu, University Malaya)

9:35 – 9:40 Welcome speech by Japanese side (Prof. Fujiwara, Okayama University)

9:40 – 12:20 Expert talk

9:40 – 10:10

Y.Bhg. Dato' Dr. Nadzri bin Yahaya, Director General of Solid Waste Management Department;

Solid Waste Management in Malaysia – Current practice and 10 years to come

10:10 – 10:40

Prof. Takeshi Fujiwara, Deputy Director of Waste Management Research Centre, Okayama University;

Japanese history on 3R and study on Low-carbon city Iskandar Malaysia

10:40 – 11:10

Mr. Koichi Yamada, Executive Manager of Environmental Bureau, Okayama City;

Incineration practice in Okayama city, Japan

11:10 – 11:40

Prof. Agamuthu A/L Pariatamby, Professor of Institute of Biological Sciences, University of Malaya;

Establishment of Center of Excellence (CoE) in Asian countries

11:40 – 12:20 Discussion session

12:20 – 12:30 Closing address

(Y.Bhg. Dato' Dr. Nadzri bin Yahaya, Director General of Solid Waste Management Department)